

第2期信州保健医療総合計画(案)の概要について

～「健康長寿」世界一を目指して～

1 計画策定の考え方

- 現行計画を引き継ぎ、健康福祉部関係 9つの計画を一体的に策定
- 県民の健康寿命延伸に向けて 切れ目なく各分野が連携した保健医療施策を総合的に推進

2 計画のポイント

- (1) 生涯を通じて活躍するための予防活動の充実と健康づくり
 - ・平成30年度から市町村とともに 国民健康保険の保険者となることから、「信州ACE(エース)プロジェクト」を柱とし 市町村を巻き込みながら推進
 - ・健康課題の「見える化」による市町村保健事業のPDC Aサイクルを支援
 - ・フレイル対策として、オーラルフレイル対策やACEプロジェクトによる心身機能の維持・向上を推進
- (2) 人生100年時代を支える疾病対策の推進
 - ・認知症疾患医療センターの整備など 認知症医療提供体制を強化
 - ・新たな3本柱（予防、医療、共生）に基づく切れ目のない総合的ながん対策の推進
 - ・ 発達障がいの診療医確保・育成体制整備等を推進
 - ・市町村や医療保険者による糖尿病性腎症の重症化予防の取組を支援
- (3) 人生の最期まで住み慣れた地域で安心して暮らせる医療提供体制の整備
 - ・現行の 10の二次医療圏を維持するとともに、疾病・事業ごとに、圏域の設定や隣接医療圏との切れ目のない医療連携体制の構築を推進
 - ・地域の中核病院を核とした 医師不足病院を支援するネットワークの構築や在宅医療推進のための 訪問看護師の確保・育成や経験豊富な看護師（プラチナナース）の活用

3 策定の経過

- 保健医療関係者、行政関係者、住民代表、公募委員等計400名以上が策定に参画
- 長野県の保健医療施策について精力的にご議論いただくとともに、現場の声を計画に反映

検討会議名等（主なものを記載）	委員数	開催回数（予定を含む）
医療審議会保健医療策定委員会	23名	5回
保健医療計画策定WG 全5WG	5WG：計52名	5WG×4回＝20回
地域医療構想調整会議（圏域連携会議）	10医療圏：計227名	10圏域×2回
健康づくり推進県民会議部会	6部会：計98名	2部会×3回＝6回 4部会×2回＝8回
がん対策推進協議会	18名	2回

・WG：ワーキンググループ

4 今後のスケジュール

- 12月～1月：第2回地域医療構想調整会議（圏域連携会議）
12月21日（木）～1月22日（月）：パブリックコメント
- 2月：医療審議会から答申
- 3月：部局長会議（計画決定）